



2020 年 8 月 31 日

報道関係者各位

慶應義塾大学病院

WHILL 株式会社

自動運転システムを利用したパーソナルモビリティによる 患者さんの院内移動に向けた実証実験の開始

慶應義塾大学病院（病院長：北川雄光）と WHILL 株式会社（代表取締役兼 CEO：杉江理）は、院内地図情報をもとに患者さんを搬送する自動運転システム（注釈／図）の実証実験を開始します。本システムでは、スタッフのサポートを必要とせず、パーソナルモビリティを使って自身の操作で院内の目的地まで移動することが可能です。

本実証実験は、院内の診療エリアが広がったことで歩行距離が長くなり長距離歩行に不安のある患者さんや、足腰に障害がある患者さんなど、自身で目的地まで移動するのが困難な患者さんに対して、院内の移動手段を提供し歩行時の転倒防止を図り、院内の快適な医療環境を整え医療サービス向上を図るものです。あわせて、自動運転により病院スタッフがサポートすることなく目的地まで移動することで病院スタッフの負担軽減を同時に達成することを目標としています。

本システムは予め院内の地図情報を作製し、地図情報を記憶した自動運転、衝突回避機能を搭載したパーソナルモビリティが、センサー群で探知した周囲の状況を解析しながら運行し、出発時に設定した目的地へ搭乗者自身は操作することなく乗っているだけで移動するシステムです。

慶應義塾大学病院は、2018 年に Society 5.0 を実現する内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の「AI（人工知能）ホスピタルによる高度診断・治療システム」事業の公募に採択され、病院の IT 化・AI 化を推進しています。本取り組みは、この AI ホスピタルプロジェクトの支援によって行われています。

実証実験概要

時期：2020 年 9 月 1 日（火）～2021 年 3 月 31 日（水）

場所：慶應義塾大学病院内（1 号館 1 階総合案内～正面入口総合案内）

内容：患者さんを「WHILL 自動運転システム」（注釈／図）により、所定の場所に搬送する。

往路は運転を必要としない自動運転モードで走行し、利用終了後は無人運転により元の場所に返却される。

対象：慶應義塾大学病院の患者



【図】WHILL 自動運転システム

【用語解説】

(注釈) WHILL 自動運転システム：WHILL 株式会社が開発するパーソナルモビリティに自動運転・衝突回避機能などを搭載した「WHILL 自動運転モデル」と、複数の機体を管理・運用するシステムから構成される、歩道・室内領域のための自動運転システム

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、科学記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ、各社科学部等に送信しております。

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾大学病院

副病院長（外来担当） 三村 将（みむら まさる）

（ご連絡は下記、慶應義塾大学信濃町キャンパス総務課までお願いいたします。）

WHILL 株式会社

広報マネージャー 辻阪 小百合（つじさか さゆり）

TEL：080-2584-1164 FAX：045-633-1472

E-mail：jp.pr@whill.inc <https://whill.inc/jp/>

【本リリースの配信元】

慶應義塾大学信濃町キャンパス総務課：山崎・飯塚

TEL：03-5363-3611 FAX：03-5363-3612

E-mail：med-koho@adst.keio.ac.jp <http://www.med.keio.ac.jp/>

※本リリースのカラー版をご希望の方は上記【本リリースの配信元】までご連絡ください。